

ナンバリング	A②06	科目名	フィールドワーク（人間と文化） 「スペインの文化に触れて」	担当教員	明石 現 田中 葵
ディプロマポリシーとの関連性	②・④	担当形態	複数		
テキスト	適宜配布	単位数 授業形態	2単位 演習	開講時期	集中
講義概要 ■到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームステイ、現地学生との共同舞台製作等を通して、日本の文化との差異を理解し、異文化交流がもたらす多様な価値観、視点を獲得しながら、自分の考えを述べるができる。 ・現地保育施設での体験を通して、日本における保育の方法や環境との違いを知り、自身の保育の学びとつなげ、自分の考えを述べるができる。 ■授業の概要 <p>緑豊かなスペイン北部・カンタブリア州の州都サンタンデルを訪れる。現地では、ホームステイ、保育施設の訪問やアタウルフォ・アルヘンタ音楽院の学生たちとの共同コンサートを通して交流を深める。その他、A. ガウディの最初期の建築が残る大西洋に面した街コミージャス、街そのものが美術館と讃えられる村・サンティジャーナ・デル・マルを訪問。その地に生まれた音楽、美術、建築、食文化等、人々の生活に根ざした芸術に直に触れる体験をし、保育や福祉に携わる者としての繊細な感性を育む。</p> ■授業計画 <p>現地での滞在を充実したものとする為に、渡航前に下記の事項をグループ全体で学びあう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) スペインの歴史・文化・政治等を分担して調べ、知識・情報を共有する。 2) 旅のしおりを作成し、現地での見学に役立てる。 3) スペイン語、英語の初歩を学習し、ホームステイ先のファミリーとの交流に備える。 4) 現地学生との共同舞台創作に備え、演目（手話合唱、ダンス等）の準備を行う。 5) 現地での安全を確保するために、DVD等を使い渡航に備える。 6) 7月下旬に訪日するアタウルフォ・アルヘンタ音楽院学生たちとの交流を通して、9月のスペイン訪問に備える。 7) 帰国後には、ホームステイ先へのお礼状を各自郵送する。 8) 渡航前と渡航後の自分自身の変化をレポートとして発表し合い、今後の学びにどのように生かして行くのかを考察する。 <p><訪問地・期間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問地：スペイン北部（サンタンデル、コミージャス、サンティジャーナ・デル・マル） ・期間：9月中旬の7泊9日を予定 <p><注意事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・パスポート申請他、事前準備は日程厳守の上で各自が責任を持って行う。 ■準備学習 <ul style="list-style-type: none"> ・海外へのフィールドワークであるため、スペイン語、英語、コンサート準備、現地の歴史・文化・政治状況等、入念な下調べをして、訪問に備えること。 ・帰国後の振り返りレポートを提出すること。 ■評価方法 <ul style="list-style-type: none"> ・事前準備 — 20% ・研修中の取り組み — 60% ・報告書作成・発表 — 20% 					
参考文献	必要に応じて提示する。	特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・定員：6名前後 ・積立金+10万円程度を予定（航空運賃、ユーロのレートの変動により誤差あり） 【課題等へのフィードバック方法】 事前の調べ学習やレポートは読み合わせ、コメントや感想を伝える。 		
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格選択	幼保	教養科目		
実務経験のある教員等による授業内容					